

キャンプファイヤー

期待される効果

思考力	判断力	表現力	創造力	コミュニケーション能力	体力	生命尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	課題発見	課題解決能力	自然への気づき	自然愛護
○		○	○	○			○		○	○			○	

活動場所	ファイヤー場	対象	小学4年生～一般
------	--------	----	----------

班の人数	—	所要時間	1時間半～2時間半
------	---	------	-----------

団体側の準備物	出し物に必要なもの（CD等）
---------	----------------

施設側の準備物	薪・聖火台・アンズ（マイク・CDのみ）・衣装（営火長、営火係用）・トーチ
---------	--------------------------------------

活動の内容

- キャンプファイヤーの火を囲み火について考え友情を深める。
- 当日は16:30～17:00にリハーサルの時間を設ける。



活動の流れ

リハーサル（16:30～）

- ・ 営火長、営火係、誓いの言葉係は流れの確認をする。
- ・ 準備係は会場設営をする。

本番（3部構成で行う）

（1部：火を迎える儀式）

- ・ 営火長、営火係入場
- ・ 営火長より営火係へ分火
- ・ 聖火台へ点火
- ・ 誓いの言葉
- ・ 営火長はじめの言葉
- ・ 係の人の退場

（2部：交流の時間）

※団体の出し物
もしくは
施設職員による
レクリエーション

（3部：火を送る儀式）

- ・ 営火長、営火係の入場
- ・ 営火長は聖火台より採火
- ・ 営火長より営火係へ分火
- ・ 全員へ分火
- ・ 営火長おわりの言葉
- ・ 全員退場

当日片付け（※準備係）

翌日片付け（※準備係）

留意点

- 火の取り扱いに注意する。

引率者の動き

（事前）

- 係を決めておく。（営火長、営火係、誓いの言葉、準備係、2部の司会）
- 誓いの言葉の内容決め、練習しておく。
- 当日までに歌う歌や出し物の練習が必要である。

（当日）

- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難誘導をする。
- リハーサルの時間に施設職員と2部の流れや座る位置、退場方法の打ち合わせ行う。
- 3部の前にトーチの配布を行う。